

里山広葉樹利活用推進シンポジウム

森の彩を暮らしへ

里山広葉樹林は、かつて薪炭の採取など人々の生活に無くてはならない存在でしたが、燃料革命以降、長年にわたって放置され、樹木の高齢化や大径化が進みつつあります。その結果、ナラ枯れ被害の拡大や野生動物との軋轢増加など各地で様々な問題が顕在化しています。

昨年度、林野庁が開催した有識者会議では、里山広葉樹の利活用こそが問題解決への道であり、利活用に向けては、多様な樹種や径級から構成される里山広葉樹林を多様な需要に結び付けるため、関係者の情報共有の基盤となるプラットフォームの構築が必要との提言がなされました。

本シンポジウムは、プラットフォーム構築のための最初のステップと位置付けており、国産広葉樹の利活用に第一線で取り組んでおられる方々をパネラーとしてお呼びし、それぞれの取組をご紹介いただくとともに、パネルディスカッションでは今後立ち上げる予定のプラットフォームのあり方についてご議論いただきます。

令和8年

2月24日(火)

オンライン併用

13:30~17:00

TKP市ヶ谷
カンファレンスセンターホール5A
主催：林野庁

詳細及び申し込みはこちらから

参加無料
(要登録)



開催次第

13:30 開催趣旨説明

13:45 里山広葉樹利活用の事例紹介



国産広葉樹の現在地

～流通のボトルネックと、未開拓市場のポテンシャル～

株式会社森未来 プロダクトマネージャー 井口 光



豪雪地集落維持のために、
ブナ林を育成しながら活用する

スノーピーチ・プロジェクト 世話人 紙谷 智彦



広葉樹材流通の課題と

ノースジャパンの取組

ノースジャパン素材流通協同組合 理事長 鈴木 信哉



既に里山2万ha以上を活用している
薪炭業を更に発展させるには

東京燃料林産株式会社 社長 廣瀬 直之



旭川家具の挑戦

～森と広葉樹、そしてデザインで築くブランド戦略～

旭川家具工業協同組合 理事長 藤田 哲也

15:20 林野庁里山広葉樹利活用推進チームからの報告

〔国内の広葉樹資源量調査の結果、アンケート結果からみる広葉樹利活用に向けた期待と課題〕
〔里山広葉樹プラットフォームの構築に向けて〕等

16:00 パネルディスカッション

～広葉樹利活用とプラットフォーム構築に向けた課題等について～

パネラー

事例紹介に登壇いただいた皆様

ファシリテーター

林野庁国有林野部長 長崎屋 圭太

17:00 閉会

(注)発表タイトル等は変更となる可能性がありますのでご了承願います。